

# 日本初の地下鉄

日本に初めて本格的な地下鉄が開業したのは1927(昭和2)年12月30日。東京地下鉄道の上野～浅草間(約2.2km)です。当時は蒸気機関車がまだ主流な中、運営する東京地下鉄道は、地下鉄用車両として1000形電車を開発しました。浅草～上野間の運賃は10銭、当時から自動改札のシステムを導入していました。

1934(昭和9)年に上野～新橋、1939(昭和14)年に新橋～渋谷 6.3キロが開通、現在の銀座線14.3キロが出来上がり、現在につながっています。



開通当時の上野駅



自動改札



## 東京メトロの歴史

東京都付近で地下鉄を運営している東京メトロですが、正式名称は「東京地下鉄株式会社」と言います。駅の看板や公式ウェブサイトでも「東京メトロ」の表記が使われており、銀座線・丸ノ内線・日比谷線・東西線・千代田線・有楽町線・半蔵門線・南北線・副都心線の9路線を運営しています。そんな東京メトロの企業理念は「東京を走らせる力」です。

## 地下鉄の駅の歴史

地下鉄は東京地下鉄道株式会社の早川徳次によって開業され、着々と地下鉄への着工が進んでいましたが、施工のさなか、戦時体制が敷かれたためその計画は停止してしまいました。戦争が終わると改めて着工が進み、戦後最初の路線として1954年に丸ノ内線が開業します。これにより、日比谷線、東西線など地下鉄の開業の規模を広げていきました。東京地下鉄(東京メトロ)発足後は、表参道駅などを中心とした「エチカ」と呼ばれる駅地下商業施設を作るなどして、駅構内の発展にも力を注いでいます。また、日本テレビで地下鉄の番組を放送するなどして、旅客の集客活動にも努めています。

## 進化する地下鉄

1998年頃から地下鉄駅構内では携帯電話が使用できるようになりましたが、2013年に行なわれた工事から、駅構内だけではなく東京メトロ全線の電車内でも携帯電話の電波が入るようになりました。また、ブロードバンドにも対応しており、ほぼすべての駅で無線LANサービスが利用可能であり、移動中や空き時間に無線LANを使用することができるようになりました。

